



PortSIP PBX

オープンソースPBXから分岐ではない

PortSIP PBXは、オープンソースのPBXから分岐するのではなく、PortSIPチームによって開発されました。高性能でクラウドPBXを簡単にホストとしてサーバーごとに10Kの同時通話を処理を可能としています。

オンプレミス環境

PortSIP PBXは、既存のサーバー、Hyper-VまたはVmwareの環境でも動作します。Hyper-VまたはVmwareによりオンプレミスの構築や既存のサーバーを活用したり、また、低コストのMiniPCにインストールすることも可能です、小規模なインストールは、Intel NUC、Shuttle、Zotac、Zbox、Gigabyteの低コストのPBXアプライアンスを利用できます。

ビルトインされたバックアップと復元機能により、PBXを別のサーバーまたはクラウドに簡単に移行することもできます。

マルチテナント

PortSIP PBXは、サーバーごとに10Kの同時通話を処理でき、真のマルチテナント機能を提供します。これにより、サービスプロバイダーは1つのPBXインスタンスのみをホストして、仮想化されたPBXサービスを顧客に提供できます。

豊富なコミュニケーションサービス

PortSIP PBXは豊富なコミュニケーションサービスを提供します。これにより、アプリはWhatsAppのように機能するため、画面を共有し、ファイル、写真、音声、ビデオメッセージを送受信できます。

ビデオカンファレンス

PortSIP PBXはビデオ会議を実装し、Zoomのように機能し、ワンクリックで簡単に会議に参加したり、参加者を招待したりできます。SIP標準のビデオ会議およびコラボレーションソリューションは、コミュニケーションを変革し、生産性を高め、旅費を削減し、顧客サービスを向上させ、企業の販売を促進します。

モビリティ

PortSIP PBXは、分散したチーム間のシームレスなコラボレーションで組織を活性化し続けます。従業員がどこにいても、組織は生産性とビジネスの俊敏性を高めるために、より強力なエンゲージメントと顧客体験を求めています。

ネイティブなWebRTC

他のほとんどの製品がWebRTCゲートウェイを使用してWebRTCとSIPを変換していますが、PortSIP PBXはWSSTランスポートを使用してWebRTCのSIPシグナリングを直接処理し、PortSIP独自のDTLS-SRTPパイプラインを使用してWebRTCとSIP間のオーディオとビデオをブリッジし、ユーザーに優れた通信体験もたらします。